

マルチオミクスによる大腸がん の代謝制御機構の解明

慶應義塾大学 先端生命科学研究所

教授

曾我 朋義 先生

日 時：平成30年10月4日（木）

16時～17時

場 所：がん進展制御研究所 会議室

がんは代謝を切り換えて解糖系などを亢進することが知られているが機序は不明である。我々は、大腸がん患者の臨床組織のマルチオミクス解析によって、代謝は腺腫の段階で変化し、ステージによらないことや大腸がんのできる遺伝子の変異では、代謝が変化しないことやMYCが215の代謝反応を制御していることを見いだした。詳細を報告したい。

[参考文献] Satoh K. et al. Proc. Natl. Acad. Sci. USA 114, E7697-E7706, 2017